

完了後の評価個表

整理番号	18
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	福岡県
地域（地区）名	おんががわ 遠賀川	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等
関係市町村	北九州市ほか 26 市町村	管理主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23 年度～H28 年度（6 年間）	完了後経過年数	5 年

<p>事業の概要・目的</p>	<p>本地区は、福岡県の中央部から北東部に位置し、北部は響灘<small>ひびきたた</small>に面し、西部は福岡森林計画区、南部は筑後・矢部川森林計画区及び大分北部森林計画区、東部は周防灘<small>すおうなだ</small>に接している。</p> <p>本地区の森林面積は 106 千 ha（森林率 49%）、対象民有林面積は 91 千 ha（森林全体の 86%）、うち人工林面積は 52 千 ha（人工林率 57%）となっている。人工林の齢級構成は、木材として利用可能な 9 齢級以上のスギ・ヒノキ林面積が全体の 88%を占め、人工林資源は利用期を迎えている。</p> <p>本地区は、遠賀川等を通じた大都市圏への水の供給源として重要な地域であるが、太陽光発電施設等の設置のための開発が多い地域でもあるため、水源涵養<small>かん</small>などの森林の持つ公益的機能が発揮されるよう配慮して、開発と保全の調和を図る必要がある。</p> <p>本事業は、森林経営計画等に基づき、森林資源の循環利用や水源涵養などの森林の持つ多面的機能の発揮のために必要な再生林、下刈り、間伐等の適時適切な施業及びこれらの効率的な施業に不可欠な路網整備を一体的に実施したものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td style="text-align: right;">4,968 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td style="text-align: right;">1,183 m</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">林道開設</td> </tr> </table> <p>・総事業費 3,582,120 千円（税抜き 3,358,523 千円） （平成 22 年度の評価時点 3,243,320 千円）</p>	森林整備	4,968 ha		人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等	路網整備	1,183 m		林道開設
森林整備	4,968 ha								
	人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等								
路網整備	1,183 m								
	林道開設								

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和4年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、労務単価の上昇、事業量の増減、及び費用便益分析で使用する単価の変動等によるものである。</p> <p>総便益（B）28,260,034千円（平成22年度の評価時点 13,258,291千円※） 総費用（C）6,394,699千円（平成22年度の評価時点 3,669,891千円※） 分析結果（B/C）4.42（平成22年度の評価時点 3.61※）</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人工造林、間伐などで、4,968 haの森林が整備され、水源涵養や山地保全等の森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。また、効果的な路網整備や高性能林業機械の使用等により効率的な作業が行われ、木材が安定的に供給された。 ・林道開設に伴い森林整備施業箇所までの到達時間の短縮および作業コストが低減したため、木材の生産性が向上した。また、林道を開設した添田町^{そえだ}においては、水源かん養保安林が5,438ha、土砂流出防備保安林が167ha（重複有）などと、民有林の51%にあたる5,652haが保安林に指定されており、適正な整備による森林の公益的機能の高度発揮に寄与している。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理しており、良好な管理状況にある。 ・開設された林道は、添田町が定めた林道維持管理規程に基づき管理されており、毎年、草刈りや側溝清掃等が行われており、維持管理状況は良好である。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材の安定供給等といった多面的機能が発揮されている。 ・林道開設により、森林整備施業箇所までの到達時間短縮等による林業従事者の労働条件の改善や整備コストの低減が図られている。なお、林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画区には、平成24年度まで8組織の森林組合が存在していたが、平成25年4月の合併により福岡県広域森林組合が誕生し、現在は6組織となっている。 ・林業労働力の確保及び育成対策は、持続的な林業経営や林業技術の継承に欠かせないものであり、農山村地域の活性化のためにも重要である。このため、安全な労働環境の整備や就業環境の改善等を行い、若年層を中心とする新規就業者の確保及び育成を図っている。 ・本計画区では、近年、「緑の雇用」事業等を活用した新規就業者の確保などにより、就業者の総数も増加し年齢も若返っており今後の更なる就業者の若返りが期待される。
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の有する公益的機能の維持増進を図るとともに、木材を安定的に供給するため、森林経営計画等に基づく適切な森林整備及びその実施に必要な路網を着実に整備する必要がある。 ・主伐量が増加しているため、今後も適正な更新により、森林の世代サイクルの回復を図ることが課題であることから、コンテナ苗による植栽や主伐と再生林の連携による一貫作業等により、低コスト再生林に取り組んでいく必要がある。

	<p>・造林、保育、木材生産等を効率的に行うための基盤である路網の整備は、機械の導入による安全性の向上など林業の労働条件の改善にも寄与するため、さらに進める必要がある。また整備した施設について、引き続き、適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <p>地元の意見： (福岡県) 適切な森林整備とそれと一体となった路網整備が実施され、水源涵養や山地災害防止等の公益的機能が増進されるとともに、木材の安定供給にも寄与している。</p> <p><small>そえだ</small> (添田町)</p> <p>当事業の実施により、路網整備の推進が図られている。今後はさらなる路網整備により、間伐やその搬出を促進し、森林組合等を中心とした木材の生産・流通体制の確立を図り、地域の活性化につなげていく必要がある。</p>
<p>評価結果</p>	<p>必要性： 間伐等の森林整備やそれと一体となった路網整備を通じて、森林の有する公益的機能の発揮が図られ、地域における水源地や、土砂の流出防止等に重要な役割を果たしており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林整備では、一貫作業や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの普及を図ってきている。</p> <p>路網整備では、現地条件に応じた工種・工法を採用し切盛土量の抑制等コスト縮減に努めている。その際、集材効率の悪い箇所路網を開設しており、施工においては、現地条件に応じた工種・工法の採用や切盛土量の抑制等といったコスト縮減に努めている。</p> <p>費用便益分析の結果からも効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能が向上し、引き続き、その効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。</p>

※平成 22 年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

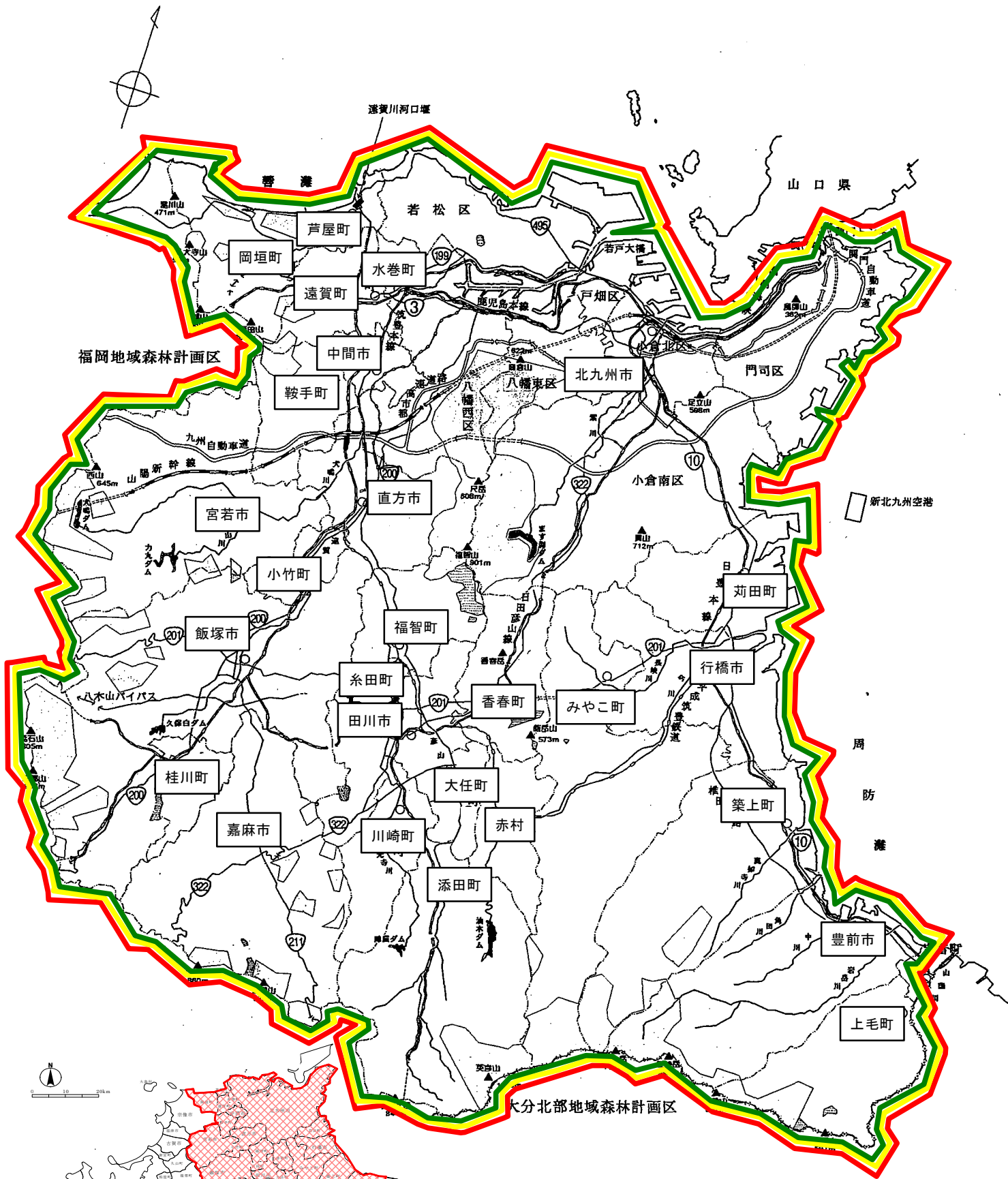
都道府県名： 福岡県

地域(地区)名： おんががわ
遠賀川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,877,088	
	流域貯水便益	1,609,752	
	水質浄化便益	6,103,267	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,064,553	
環境保全便益	炭素固定便益	6,722,491	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	28,417	
	木材利用増進便益	4,901	
	木材生産確保・増進便益	2,712,647	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	136,918	
総 便 益 (B)		28,260,034	
総 費 用 (C)		6,394,699	
費用便益比	$B \div C = \frac{28,260,034}{6,394,699} = 4.42$		

森林環境保全整備事業 遠賀川地域（福岡県） 概要図



凡例

計画区界	——
事業区域	——
森林整備	——